

患者さんおよび職員の負担軽減のための取り組み-1

患者さんの受診・入退院を支援し、限られた病床を効率的に稼働。

入退院支援センター (PFO)

● 設置の目的

- ◆ 患者さんのスムーズな入退院を支援します。
- ◆ 患者さんが入院しやすい環境を作ります。
- ◆ 限られた病床を効率的に稼働させるためPFO(※)の観点に基づいた精緻な入退院管理を行います。
- ◆ 入院にかかる業務を整理し、職員の入院業務の負担を軽減します。
- ◆ 入退院にかかる患者さんの医療的、社会的問題点を外来受診時、入院初期など早期に把握し、円滑な転院・退院に繋がられるように、関連部署に情報を提供します。
- ◆ 入院事務業務を専門化させることで、医師、看護師の入院事務業務の簡素化、負担軽減を図ります。

※ PFO(Patient Flow Optimization)=患者さんの流れを最適化すること。

● 主な業務内容

- ◆ ベッドコントロール
- ◆ ケースマネジメント
- ◆ 入院オリエンテーションと電話相談
- ◆ 入院の部屋希望の確認と調整
- ◆ 入院後の患者さんの退院支援
- ◆ Patient Flowのボトルネックの把握と解決策の検討



外来看護室

- 外来看護室は、看護師が問診、検査説明、指導などを丁寧に行うことにより、患者さんに安全で分かりやすい診療サポート業務を提供するとともに、医師の業務負担の軽減を図ります。

● 主な業務内容・役割

- ◆ 定型的処置・検査についての患者説明と援助
- ◆ 処置の準備と介助
- ◆ 処置・指導など患者さんの記録
- ◆ 診察待ちの患者さんの観察
- ◆ 感染防止に向けた配慮
- ◆ 待ち時間の縮減と時間の有効活用(問診を行うなど)

患者さんの快適な療養をサポート

ホスピタリエ(病棟コンシェルジュ)の導入

- 特別病棟にホスピタリエ(病棟コンシェルジュ)を採用しました。患者さんへ行き届いたサービスを提供し、快適な入院生活をお送りいただくことで、患者さんの満足度アップに繋がります。
- 入院時のお迎えや各種案内、面会者への施設ご案内、クリーニング受付、ワゴンサービス、退院時の手続きなど、快適な入院生活をお過ごしいただくためのサービスを提供します。

個室レンタル方式による病棟個室の整備

- 病棟個室については、「個室レンタル」を導入しました。ベッドなどの明確な更新計画やメンテナンス計画が策定され、高い水準の療養環境を提供します。
- ベッド、家具、調度品の計画的な更新により経年劣化による病室の陳腐化を防ぎ、患者さんに快適な環境を提供し続けることができます。